

## クラブはんどれっど歴史散策 No. 17

「相模国府祭六社めぐり」はすでに歩いた三宮・比々多神社、二宮・川勾神社の流れで、今回は残りの四宮を一気に廻りました。六所神社、平塚八幡宮、前鶏（さきとり）神社と、大トリは寒川神社でした。天候は今一つぱっとしませんでしたが、でも相模国府祭（こうのまち）六社めぐりを終えた気分は、それはもう・・・やってみた人でなければ分かりません、とりわけ寒川神社は「八方除け」の神様にお参りして晴れ晴れと満たされた気分になりました。今回行かれなかった方に、こんどの5/5（祝）は相模国府祭（こうのまち）が催されます、ぜひ一度ご利益をと願います。皆さま一日に4社も廻り、いとお疲れさまでした。



（上）六所神社の湯津爪櫛（ゆつつまぐし）のお守りは男が女に贈ると「かけがえのない大切な女（ひと）」の証となるか・・・ためしてガッテン。



（上）八幡宮は、西暦380年と600年ころの2回も大地震に見舞われた、もうそろそろ3回目の大地震がくるのではないかと、つくし野の防災部長が心配していました。



（上）焼き鳥ではない、前鶏（さきとり）神社の鐘楼で、橋本さんが、鐘と尻餅をつき、いとおかしいとめでたし。



（上）相模の国には、一宮とされる神社が2つあります、一つは鎌倉の鶴岡八幡宮、そしてもう一つがこの寒川神社です、江戸から見てウラ鬼門にあたり、家康は度々訪れたという。